

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自に理念を作成して居り、見やすい場所に掲示していて、安心して生活できますように努力しています。	○ 地域密着型サービスについて、理解し、もっと、全職員で取り組んでいく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は誰でも、理解できますように作り直しして、実践に向けて、日々、努力して、取り組んでいます。	○ 全職員が朝の申し送り時に復唱していく必要があり取り組んでいく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	事業所内の見やすい場所・玄関、事業所内、広報に掲載して理解を得ています。ホーム便りは、施設周辺、老人会等へ配布しています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域の老人会へ出掛け、GHの概要を説明させていただいたり、小旅行、トランプ大会等に参加し理解を得ています。 春の清掃活動には、利用者も参加して毎年の恒例になりました。 オンブズマン、高校生のJRC、小学生、保育士よのボランティアの訪問も受け入れ、実習生も受け入れているので、利用者のプライバシーには十分配慮しています。	○ 新興住宅地でアパートが多く、若い世帯の為、事業創設5年になりますが、近所との付き合いは、あいさつ程度ですので、これからも隣近所との交流を大切にしていきたいと思えます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	より良いサービスを行う為に今までに指導を受けた事に対しては、改善をして取り組んでいて、向上をめざしています。	○	評価結果は共有し、周知していますが自己評価は今回は全員で行っていないので毎年行うようにして、より良いサービスにつなげたいと思う。
6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	テーマを決めて、取り組んで居り、自治体、家族、町内民生委員、老人会代表との情報交換を行い、お互い理解を深めている。自己評価、外部評価については報告はしていません。	○	これからは、自己評価、外部評価も公表し、意見交換を行っていきます。
7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村へは、パンフレット、広報紙、自己評価、外部評価の結果を提出し、報告は行われていて、運営推進会議時には、市、社協、町内民生委員によって課題等を話し合い、情報交換し、サービス向上に勤めている。	○	外部評価、自己評価をもとに運営サービスの質・向上に取り組んでいきたい。
8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	利用者の中には地域権利擁護を使っている人もいますが、全職員が知っているとは思われない。必要性のあります利用者、家族には支援していく。	○	内部研修を通して、全職員がわかるように勉強会を行っていく。
9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修参加したり、内部会議等では、十分話し合い、理解をしている。防止に努めている。	○	虐待の早期発見や対処方法については、取り決めはないが、虐待のないように忙しい時こそ、言葉掛け等に注意しています。マニュアル作成を行う。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
10	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、書類を読んで説明し、理解を得ています。退居の際には、十分説明を行い、退居先への情報提供も行っています。	
11	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が苦情を出しやすいように、日頃より、関わりを持って対応し、言動や不満、意見を見逃すことのないように取り組み、速やかな対応をできるように情報交換しています。オンブズマン導入も行い、1ヵ月1回来所している。	
12	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	面会に来所された時や1ヵ月1回、ハガキにて近況報告を行っている。金銭管理は出納書に記録し、毎月、コピーし送ったり、来所された時には確認していただきサインをもらっています。	○ 職員の異動時には、報告するようにしていく。
13	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が面会に来所された時、近況をお知らせし、要望、意見を聞くように心掛けています。事業所内に苦情箱を設置されている。	
14	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	運営の進行に支障のある時には、職員で話し合い実行しているが、利用者の受け入れについては、生活支援専門員や看護師が行っていて、情報提供が行われている。	○ 入所時の場合は、全職員の意見を受け入れ決定に持って行くようにする。
15	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	人員配置、夜間ケア、休職の代替えは確保されて居り、利用者への関わりには支障はない。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者へは十分な説明等はされていないが、支障のないように配慮し、人材確保はできている。	○	今まで職員の配置換えは、利用者に事前に伝えたことなく、これからは取組んでいく。
5. 人材の育成と支援				
17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員が個々に合った研修を行い、報告書を作成し、全職員に会議等で報告して、日々のケアに活かせるようにしています。		
18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協会の研修や勉強会に参加している。		
19	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための良好な工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員がゆっくり休憩できる場所の確保しており、職員同志の交流もできている。		
20	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員の勤務状況の把握はできている。年2回、健康診断を行っていて、就業規則は守られています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
21	○初期に築く本人、家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人、家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用希望者や家族と面談を行い、会話の中で希望や要望を把握している。 利用者、家族の信頼関係ができるように情報を集め、対応している。	
22	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談内容を受け留め、必要に応じては他のサービスを利用し、対応しています。	
23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者、家族の意見を取り入れ支援に活用している。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の今までの生活歴を尊重し、生活の中で共感していけるように努めています。利用者の方々は、できることを行い、力を発揮している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会時に状況をお知らせし、要望をその都度お聞きし、在宅での生活歴の情報を得たりして、支援の参考にしています。		
26	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	施設にあずけっぱなしにならないように面会に来て頂けるように便りにして送っている。年に一度、家族交流会も行われていて、毎年増えている。		
27	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	月に一度、行事で出掛け、在宅時代の思い出の場所とに行き、懐かしんでいる。馴染みの人の面会は多いが、通信面は程んどないです。	○	これからも一人一人の思い出の場所へ出掛けられますように計画を立てていく。
28	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者が関わり合い、支え合えるように努めている	家事仕事、レクリエーション等で、コミュニケーションを図り、歌の好きな人、手仕事の好きな人、話し好きな人等、関わりに努めています。		
29	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了した後は程んど相談もなく、関わりなくなっている。	○	これからは、もっと継続できますように相談に応じられることを示していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
30	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所した時から希望や意向に努め困難な時には、家族よりさらに情報を提供して頂き参考になっている。	
31	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の生活歴や生活環境等、家族より提供して頂き、本人に合った生活支援ができますように努めています。	
32	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個別の日誌に一日の状況を記録し、全職員、看護師に状況を申し送り、共有に努めている。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
33	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一カ月に一回、カンファレンスを行い、課題と方針について話し合いを行って介護計画を作成している。	
34	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画を期間を明示し、終了後の見直し、本人の状況に応じ、アセスメントを行い、随時の見直しを行い、面会や郵送にて、介護計画に対して意見、要望を聞かせて頂き、参考にして取り組んでいる。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
35	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のくらしや様子、健康状態を記録し、職員間で共有し、介護計画に活かして実践を行い、1カ月1回結果を話し合い見直しにも活すようにして努めている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
36	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	自主サービスとしては、馴染みの医療機関への主審や外出支援の移送を行っている。隣設になっているデイサービスの施設利用も行われている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
37	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署との連携では、火災避難訓練、救急処置訓練を実施、駅前、地域交番への便り配布、文化面は、地域のホールへ出掛け、芸術鑑賞、教育面は、保育園児、小学生、高校生、オンブズマン民生委員との交流に努めている。		
38	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	理・美容院は、民間のサービスを利用している。		
39	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	月1回、地域包括支援センター会議へ出席して、情報交換を行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
40	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
41	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
42	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
43	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
44	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>身体機能低下による色々な障害を見極め、利用者の意志を尊重し、介護に努めている。</p>
45	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
46	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	看護サマリー、ケアプランをそえて、十分な情報交換を行って、全職員は利用者が別の環境に移り住むことへのダメージは知っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
47	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	特に排泄、入浴時のプライバシーに気をつけている。声掛けは一緒に生活していると慣れも有り、気を付け合って対応している。個人情報は決められている場所に保管されている。	○	これからも慣れ過ぎにならないようにプライバシーに配慮を行い、生活しやすい場を提供できるように努める。
48	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日頃より、会話の場面を作り、何を思っているか表出できるように対応し、生活面での支援に利用している。	○	もっと、もっと自己決定や意思表示できるように場面作りに努める。
49	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の訴えは全職員が聴くようにして、さっそく対応し、家族がらみの事は家族へ連絡して本人の意志を伝えたり、本人の言動を大切に精神面のケアを行っている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
50	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	女性の方が多いので自分に合った身だしなみをされ楽しんでます。男性の方はなじみの床屋さんへ送迎にて行き、地域の方との交流を楽しんでいる。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
51	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
52	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
53	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
54	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
55	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
56	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の方々は、お金の大切さは十分知って居り、自分で管理されて必要な物の買物へ出掛ける人も居る。時々、施設で使用する物品の買物へ行き、支払いし、おつりやレシートをもらっている。買物の支援も行っている。		
58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	地域の自然環境が良いので、天気の良い日は近くの川沿い、神社、公園、庭の畑へ出掛け季節の変化を楽しまれている。月に一度は遠出も行い、リフレッシュできるように支援を行っている。		
59	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	1カ月1回、季節に合った計画をして小旅行を楽しんだり、外食を楽しんでいる。利用者や家族の希望により外出の支援も行っている。		
60	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族が遠くで生活されている利用者には、時々、電話や便りをくださるよう助言したり、利用者から家族へ電話を掛ける人もいて、安心されている。他の方への配慮では、事務室や自室にて話しをしています。		
61	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間の設定はなく、いつでも面会できる対応を行っている。 面会時は、自室でゆっくり会話され楽しんで居ります。今まで宿泊希望の家族はいませんが、いつでもできる体制です。		
(4)安心と安全を支える支援				
62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が身体拘束など研修に出掛け勉強したり、内部研修でも話し合っている。今までの所では、拘束の必要な入居者は居りませんでした。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に鍵はあるが、AM6:30～PM7:30までは施錠せず、チャイムで出入りがわかるようになっていいる。居室へも自由に出入りしている。徘徊があり、落ち着かない時は本人が納得できるまで付き添って出掛け支援している。徘徊のあります利用者の服には名前と電話番号を付けている。	○	無断外出時に備えて、近隣の協力を得られる働き掛けはもっと必要なので取り組んでいく。
64	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	24時間、利用者を見守り、状態把握し、職員が一人一人、仕事を分担し、一カ所に集まらないようにして、安全に配慮している。		
65	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬品、包丁、洗剤等は鍵のかかっている場所に保管し、利用者の手や目の付かないように対応している。		
66	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故防止の為、程んどの所に手すりを設置、火災発生を想定した避難訓練も2回行っている。危険な事があった時はヒヤリハットを作成し、全職員で周知し、再発防止に努めている。報告書はいつでも見れる場所へ保管。		
67	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命の研修を受講したり、緊急マニュアルも作成している。 応急手当の(ケガ等)定期的訓練は行われておらず、内部研修が必要だと思う。		看護師の指導にて、応急手当、救急救命の定期的訓練の内部研修に取り組んで行く。
68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	利用者と共に昼夜を想定した避難訓練は、消防署に通報したり、定期的に行っているが、災害時に備えての食料、飲料水、トイレの物品は用意されていない。		今までは災害もなく、平和だったので備え付け物品にはついてはなかったので、これからは取り組んでいく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
69	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	認知症の進行や身体低下に対して、家族と話し合ったり、全職員が把握して介護できるように見直しや対応方法を話し合っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
70	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	看護師が毎日バイタルチェックを行い、既往歴現在の病気の様子観察を行い、全職員と共に早期発見に努めている。変化時は、記録や申し送りをし、全職員が共有し、医療機関で相談し対応している。		
71	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師より、受診後全職員がわかりやすいように、申し送りや記録して報告している。誤薬防止する為、職員が管理している。薬の変更時は、状態変化の観察し、記録している。		
72	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	全職員は便秘の原因、影響を理解し、食材、メニューの工夫、一日の食事、水分、排泄の記録を行い、毎日の活動を促し、自然排便に努め、重度の便秘症に対しては主治医に相談し、薬の使用量を決め対応している。		
73	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアの実施。 一日毎に清浄剤を使用し清潔面の援助、支援を行っている。		
74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量の確認をし、表に記録その人に合った摂取量をめざしている。 重度の人には高カロリー栄養剤で補食し支援を行っている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症予防、早期発見の為マニュアルを作成し、全職員が把握できるようにしている。手洗いはペーパータオルを使用。インフルエンザ予防接種は全員行っている。清掃時、入浴後は塩素系洗剤で消毒行う。		足浴はタライを使用せず、シャワーで掛け湯して洗う。
76	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具、布きん等は塩素系洗剤で消毒を行い、冷蔵庫の清掃も行っている。魚、野菜は毎日新鮮な食材を業者の人が届けてくれます。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
77	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設の回りに木や花や野菜を植えて玄関には鉢植えも置いて、明るく落ちついた雰囲気作りを行い、いつでも自由に出入りできるようにしている。		
78	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は木目調を多く取り入れ、避の色も落ちついた雰囲気を出している。日射しの明るさに対しては、カーテン・ブラインド設置され、庭には花壇も有り、季節感が伝わるように、大きな窓になっている。		
79	○共用空間における居場所づくり 共用空間の中には、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間は畳み、ソファ、テーブル、椅子が置かれていて、思い思いにスペースを活用している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
80	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	居室は、今まで使用していた家具やテレビ、家族 の写真等を持ち込まれてくつろいだ生活されてい る。		
81	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	換気、空調、整備が整っていて、日に2回、温 度、湿度も記録している。湿度の下がっている時 は、水バケツ、濡れタオル、霧吹き等で調整。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
82	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	廊下、トイレ、風呂場、玄関の外には手すり設 置、洗面所は車椅子利用者の洗い場も設置。干し 場も、利用者に合った高さの物を設置され、身体 状態に合わせた改善が行われている。		
83	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	認知症の入居者が混乱しないように居室の戸に工 夫してみたり、環境面での事故防止を防ぐ為、危 険な物はないか、汚れはないか、注意して取り組 んでいる。		
84	○建物の活用 建物を利用者が楽しんだり、活動できる ように活かしている	日光浴、畑での野菜作り、草取り、花への水や り、花の観賞等活動され、庭にはベンチも設置さ れていて、お茶を飲んで過ごすことも有り、楽し まれている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
85	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
86	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
87	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
88	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
89	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
90	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
93	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
94	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
95	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
96	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
97	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

自由に穏やかに、安心して生活できるように地域に密着され、内外の環境整備が整っている。